



「バイオマスタウン」のメリット

バイオマスタウンになると次のような成果が期待できます。

地球温暖化防止

今まで焼却していた食品廃棄物、せんてい枝などの可燃ごみ処理量が減ることにより、二酸化炭素の発生を削減できます。

循環型社会の形成

廃棄物が削減でき、資源を循環して利用することで、環境に配慮した社会を作ることができます。

環境水準の向上

化学肥料を減らし、バイオマス堆肥を利用することにより、耕作地などの土壌改良、食の安全、河川の水質改善などが期待できます。

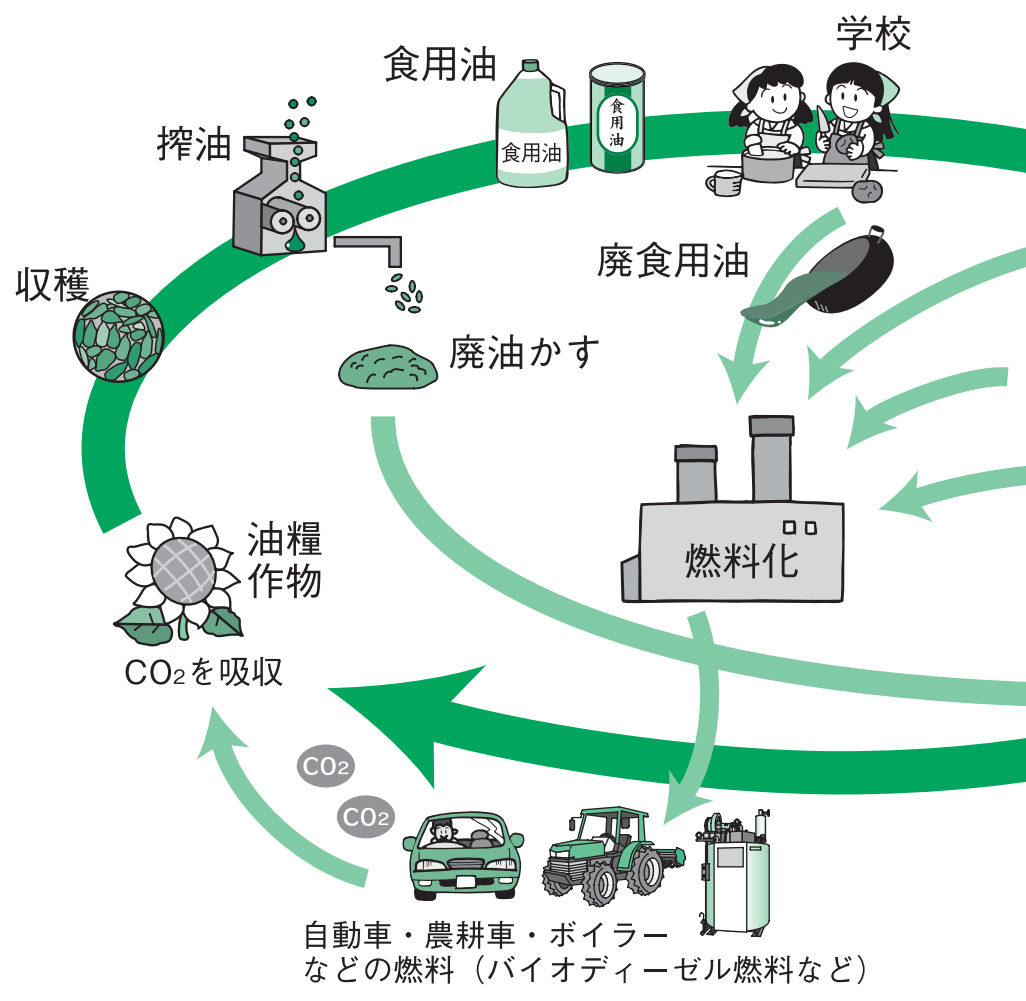
地域経済の活性化

バイオマスを活用した農作物をブランド化することにより、農業の活性化が期待できます。また、町内でのバイオマス生産体制の整備をめざすことから、雇用の促進にもつながります。

2 未利用バイオマス

「稲わら・麦わらなど」
稲わらは、年間3,763トン発生し、ほとんどが鋤き込みされています。麦わらなどについても鋤き込み又は焼却され、再利用されていないのが現状です。堆肥化・燃料化をめざし、収集方法、変換施設の設置などを検討していきます。

「せんてい枝」
引き続き、農業生産法人（有）あぐりに搬入し、土壌改良材に変換します。今後は、農家・家庭での利用を考えています。



3 資源作物

「ひまわり等油糧作物」
農地の保全、美しい景観づくりも含め、耕作地の拡大ができればと考えています。
搾油したひまわり油を給食で使用し、その廃食用油を燃料化して利用するという循環システムを作っていきます。

バイオマスは、二酸化炭素を削減し、ごみを減らすだけでなく、地域を活性化することもできるのです。しかし、松前町でバイオマスを循環させるためには、地域と一緒に取り組まなければなりません。バイオマスタウンという大きな目標達成には、皆さんの理解と協力が不可欠です。バイオマスタウンをめざすため、みんなでできることから始めましょう。